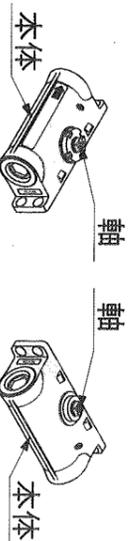


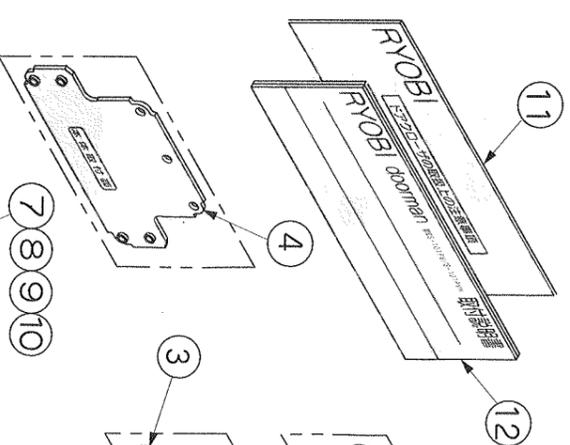
このたびはリョービドアをお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。リョービドアを正しくお使いいただくために、本取付説明書を充分にお読みになり、お取付けくださるよう

取付け作業に入る前に

- ・取付方法につきましては、当社ホームページで紹介しています。
<http://www.ryobi-group.co.jp/>
- ・必ず取付説明書を **1** から順にお読みになり、取付けを行ってください。
- ・本製品はドア開き方向の左右開きは共用です。(**1** **4** を参照ください。)
- ・本製品はストツプ付きです。(ストツプなしにはできません。)
- ・ドアランを取付けた後は、ドアを開くとき取付前よりは少し重く感じられます。
- ・本体の軸 (下図を参照ください) は、ドアに取付ける前に回転させないでください。

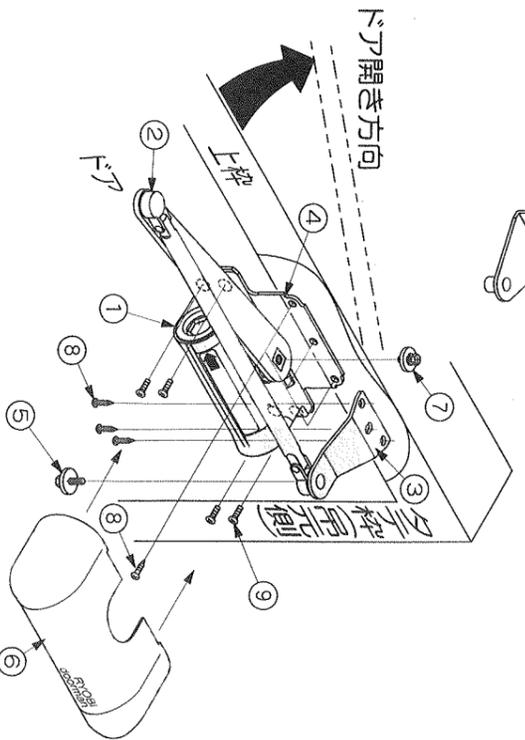


2 部品名称

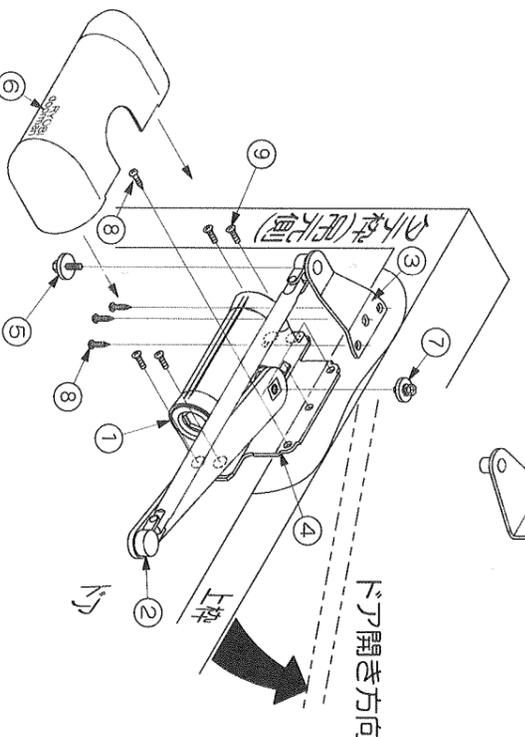


1 全体組立図

L型ブラケット (オアション)



L型ブラケット (オアション)



(右開き)

(左開き)

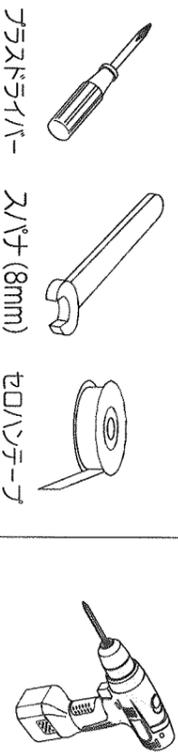
部品名

NO.	部品名
1	本体
2	アーム・リンク (連結品)
3	D型ブラケット
4	取付板
5	ブラケット・リンク結合ネジ ⊕六角ボルト(3)
6	カバー
7	本体・アーム結合用ネジ ⊕六角ボルト(3.5)
8	取付板・ブラケット取付用ネジ ⊕丸頭ピンネジ
9	本体・取付板結合ネジ ⊕丸頭ピンネジ M
10	下穴加工ネジ ⊕ドリルネジナベ
11	取扱説明書
12	取付説明書及び取付型紙

注記: グリスターバックス品にはL型ブラケットを同

3 取付けに必要な工具

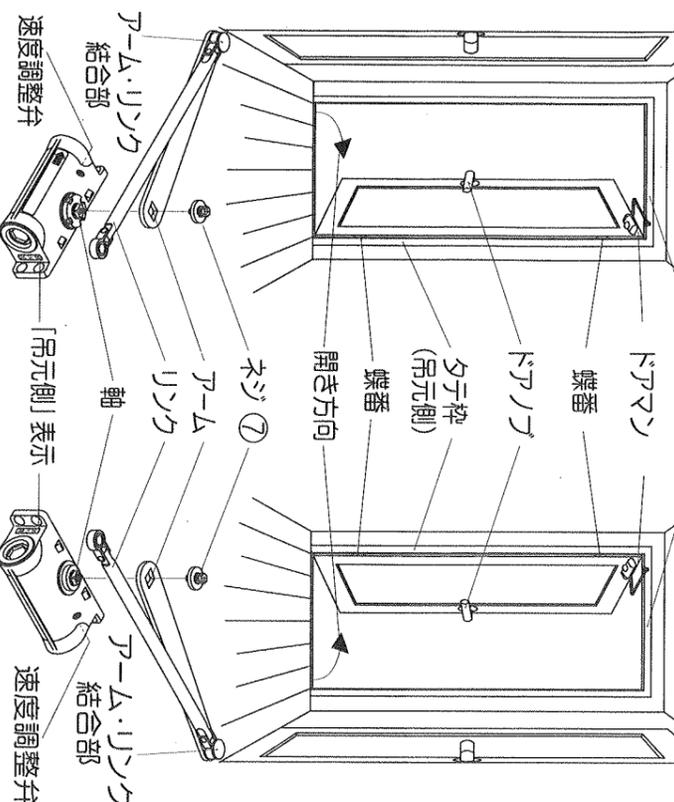
(あると便利な工具)



4 ドアの開き方向の確認 扉を押し開く側に立って確認してください。

(右開き)

(左開き)



5 取付型紙の選択と使用方法

- (1) はじめにドアの開き方向 (**4** 参照) をお確かめの上、下図の上段 (左開き用) または下段 (右開き用) を、次にドアの上枠のかたちをお確かめの上、各段の3つの図の中からあてはまるものを1つお選びください。図を使用します。
- (2) 選んだ型紙1～型紙6の1つを右面とそのウラ面にある取付型紙の中からキトリ線にしたがって切り取ります。

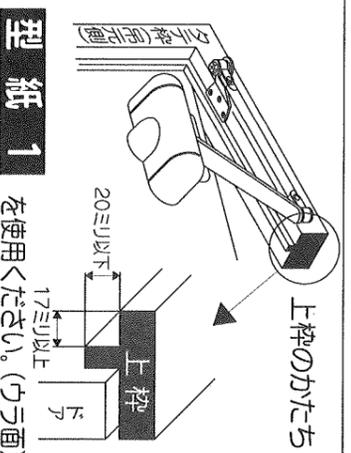
注意 型紙3 型紙6の場合L型ブラケット (オアション) を使用します。必要な場合は販売店にてお買い求めください。



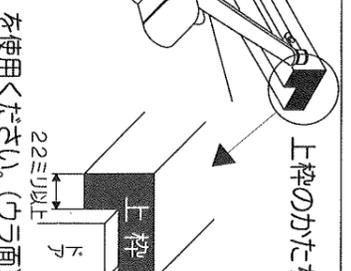
L型ブラケット

左開き用

(ウラ面)



型紙 2

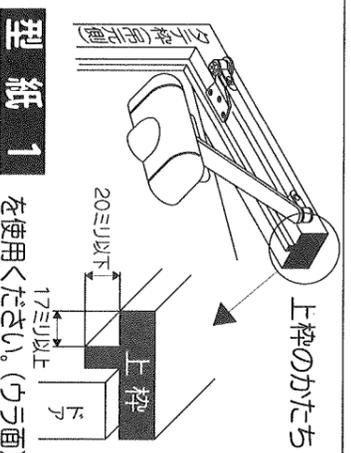


型紙 3

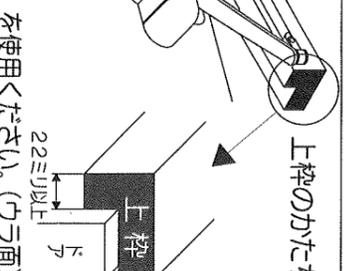


右開き用

(ウラ面)



型紙 5



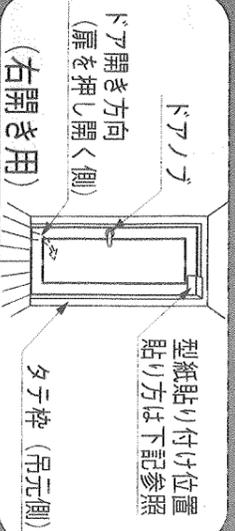
型紙 6



型紙 4 を使用ください。

型紙 5 を使用ください。

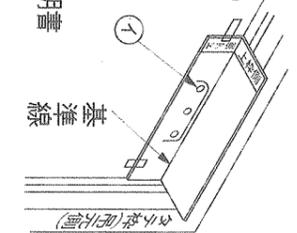
型紙 6 を使用ください。



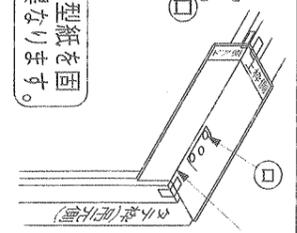
取付型紙(右開き用)

取付位置決め順序

1. 基準線を直角に谷折りにし、ドア側をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板の取付穴位置 ① を決めてください。



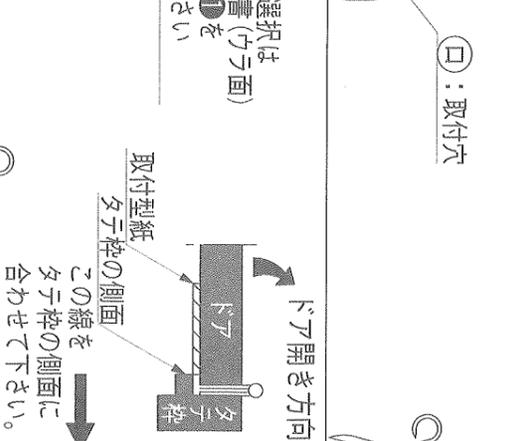
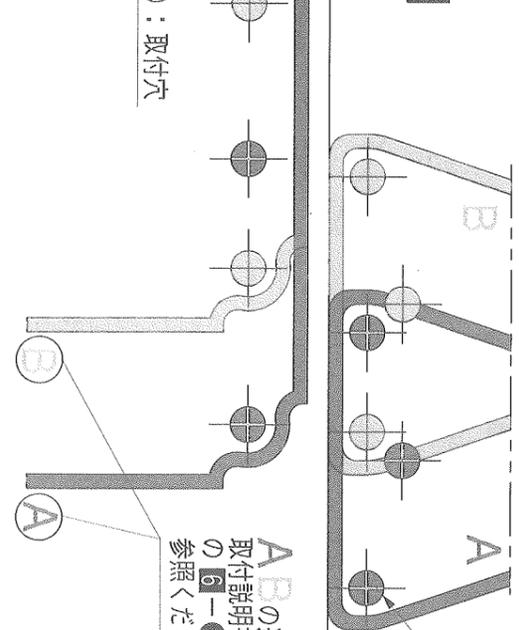
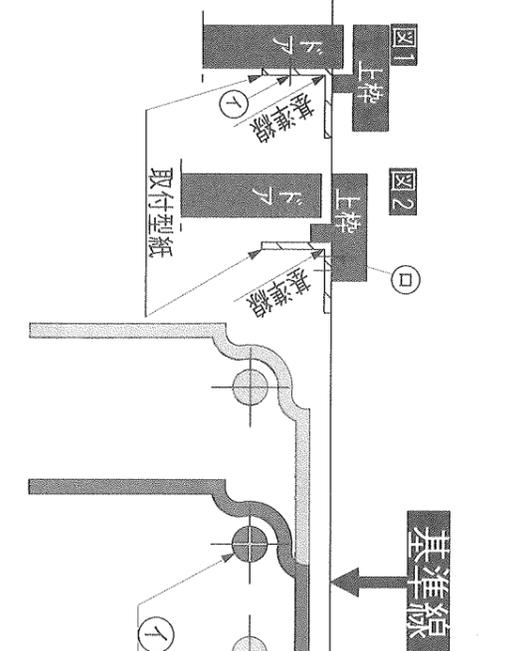
2. 基準線を直角に谷折りにし、上枠側を上枠下面に合わせ、ブラケットの取付穴位置 ② を決めてください。



注意 1, 2 では取付型紙を固定する場所が異なります。

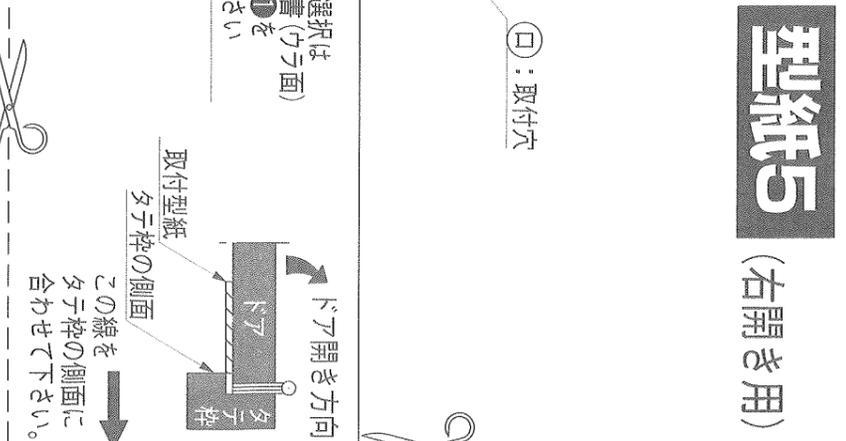
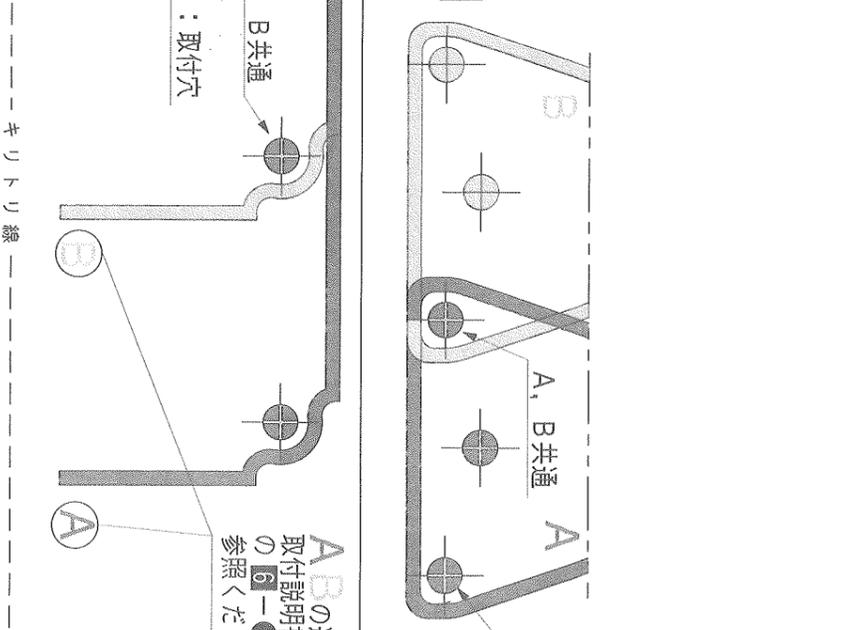
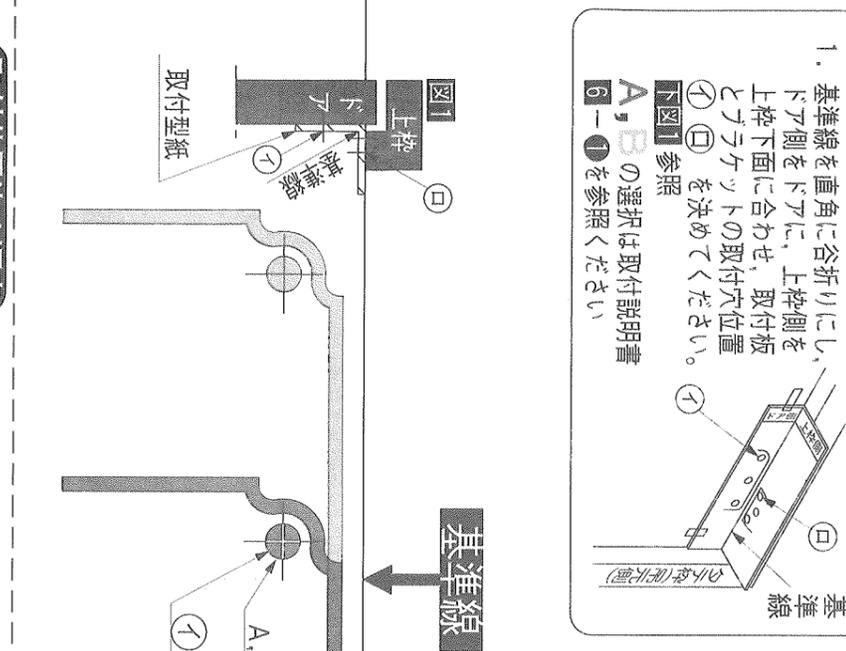
型紙4

(右開き用)



型紙5

(右開き用)



名称	員数
①	1
②	1
③	1
④	1
⑤	1
⑥	1
⑦	1
⑧	1
⑨	1
⑩	1
⑪	1
⑫	1
⑬	1
⑭	1
⑮	1
⑯	1
⑰	1
⑱	1
⑲	1
⑳	1
㉑	1
㉒	1
㉓	1
㉔	1
㉕	1
㉖	1
㉗	1
㉘	1
㉙	1
㉚	1
㉛	1
㉜	1
㉝	1
㉞	1
㉟	1
㊱	1
㊲	1
㊳	1
㊴	1
㊵	1
㊶	1
㊷	1
㊸	1
㊹	1
㊺	1
㊻	1
㊼	1
㊽	1
㊾	1
㊿	1

しています。

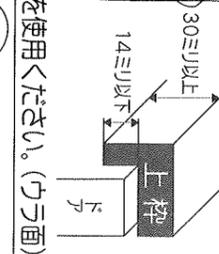
めてください。
記された型紙 1 ~ 型紙 6

L型ブラケット
(オブラジョン)

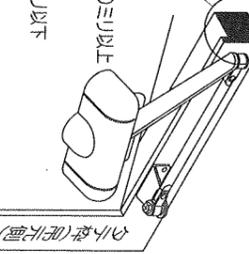
ださい。ウラ面にツク

オブラジョン

上枠のかたち



を使用ください。(ウラ面)



使用ください。

ドア側

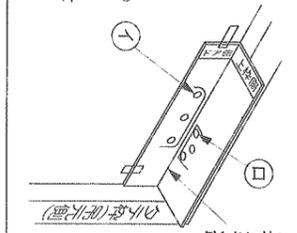
上枠側

ドア側

上枠側

取付位置決め順序

1. 基準線を直角に谷折りにし、ドア側をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板とブラケットの取付穴位置 ① ② を決めてください。



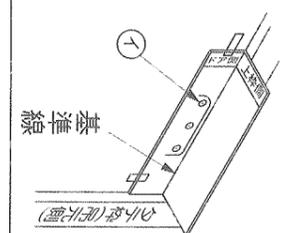
2. 基準線を直角に山折りにし、上枠側を上枠下面に合わせ、ブラケットの取付穴位置 ③ を決めてください。



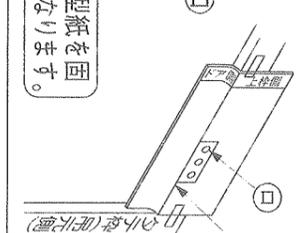
注意 1, 2 では取付型紙を固定する場所が異なります。

取付位置決め順序

1. 基準線を直角に谷折りにし、ドア側をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板の取付穴位置 ① を決めてください。



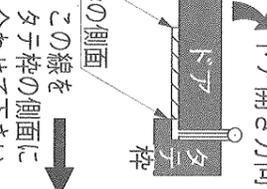
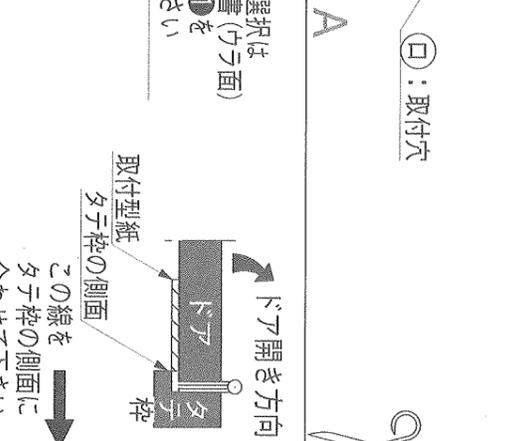
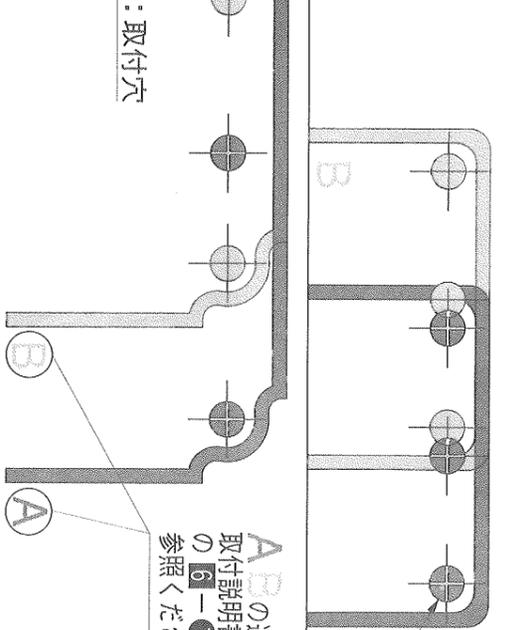
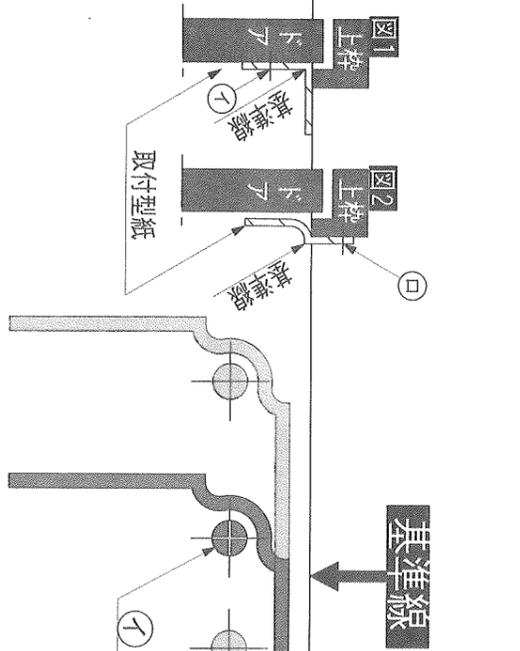
2. 基準線を直角に山折りにし、上枠側を上枠下面に合わせ、ブラケットの取付穴位置 ② を決めてください。



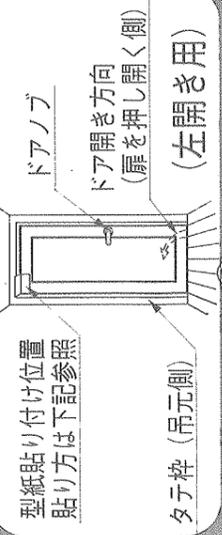
注意 1, 2 では取付型紙を固定する場所が異なります。

型紙6

(右開き用)



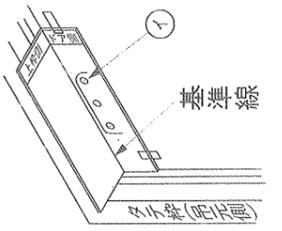
取付型紙(左開き用)



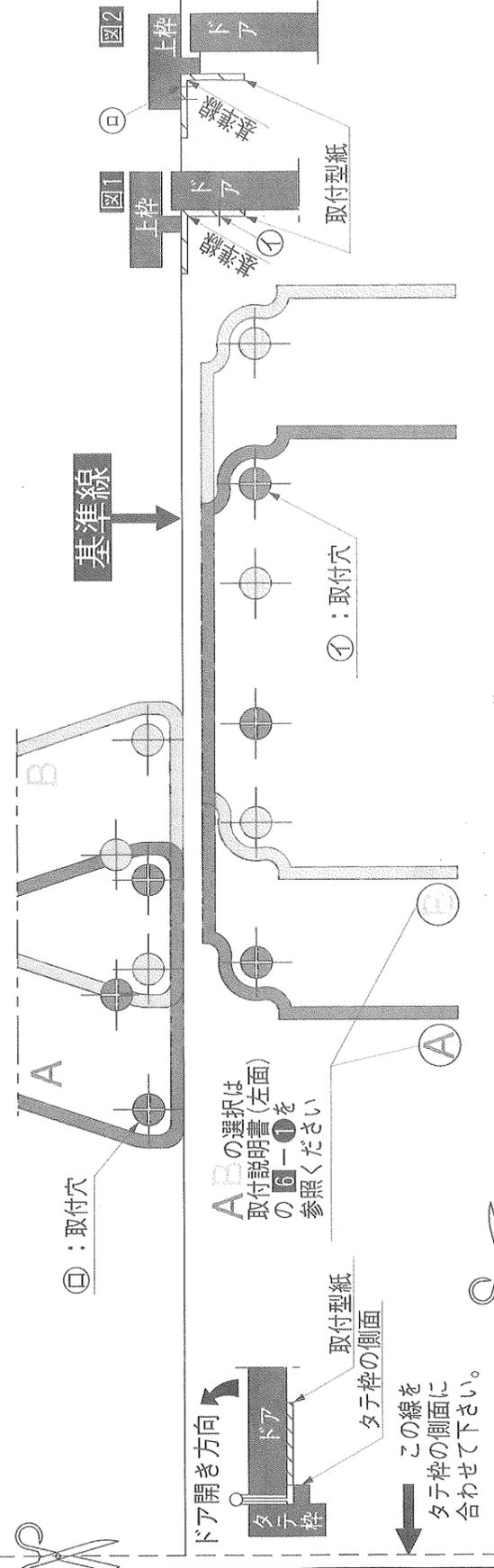
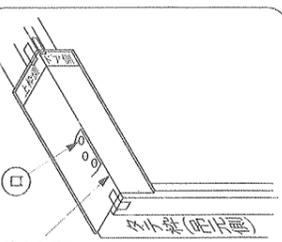
型紙1 (左開き用)

取付位置決め順序

1. 基準線を直角に谷折りにし、ドア側を上枠下面に合わせ、取付板の取付穴位置①を決めてください。
 下図1参照
 A、Bの選択は取付説明書6-1を参照ください



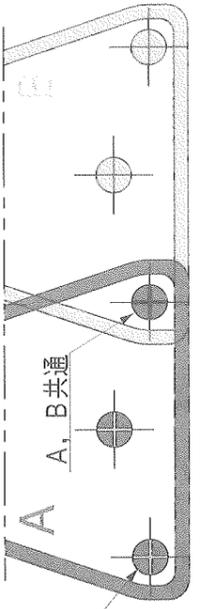
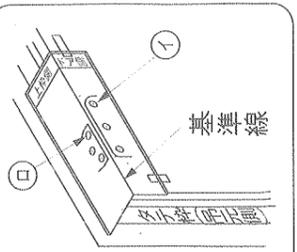
2. 基準線を直角に谷折りにし、上枠側を上枠下面に合わせ、ブラケットの取付穴位置②を決めてください。
 下図2参照
 1,2では取付型紙を固定する場所が異なります。
 注意



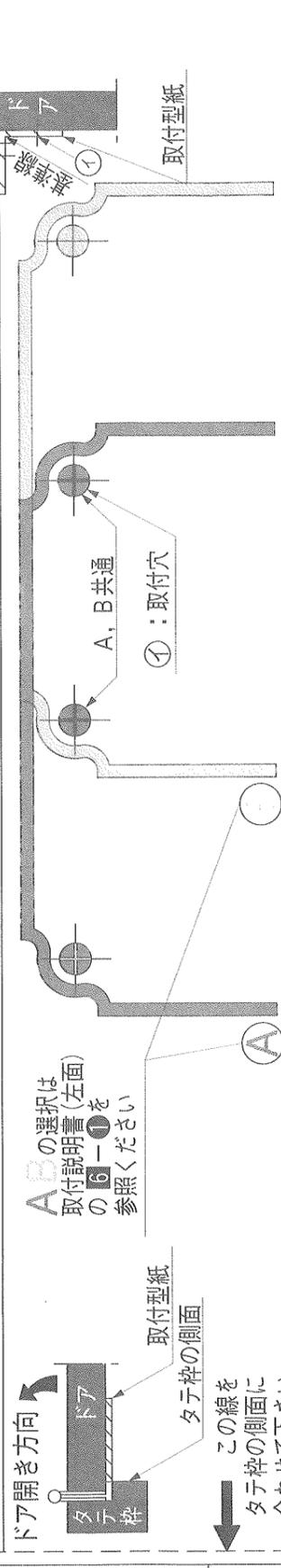
型紙2 (左開き用)

取付位置決め順序

1. 基準線を直角に谷折りにし、ドア側をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板とブラケットの取付穴位置①②を決めてください。
 下図1参照
 A、Bの選択は取付説明書6-1を参照ください



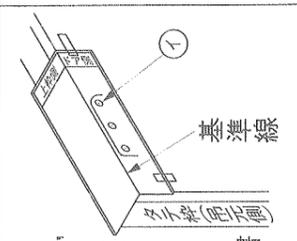
A、Bの選択は取付説明書の6-1を参照ください



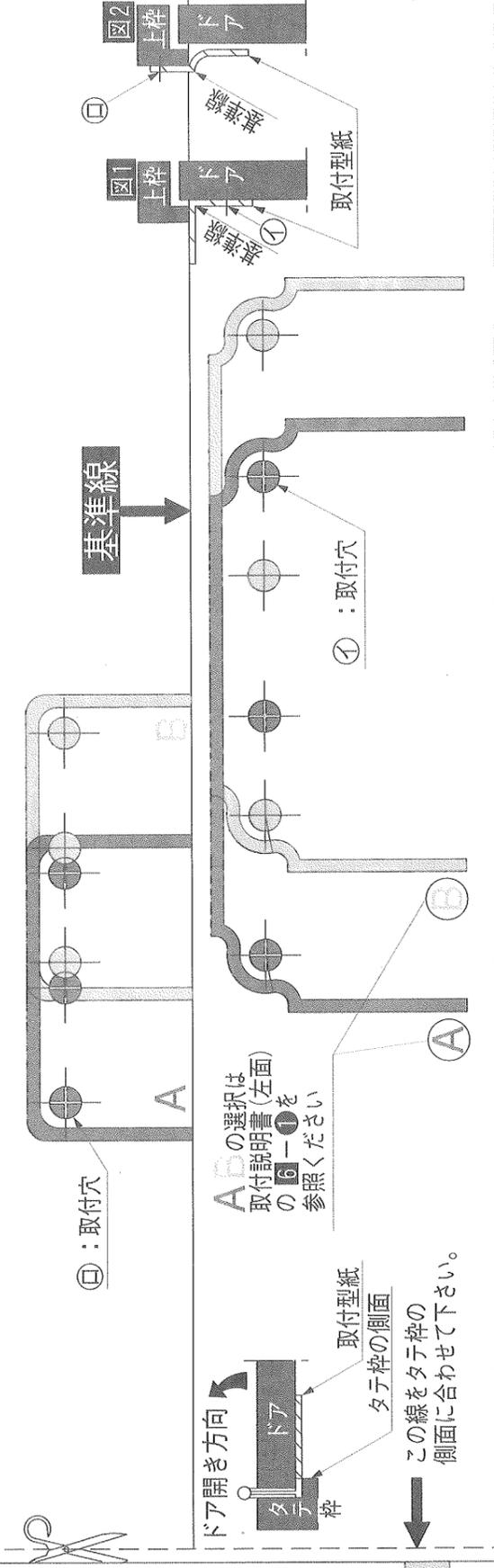
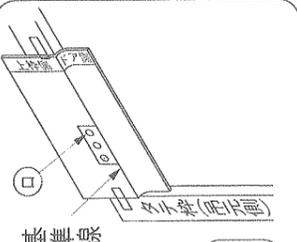
型紙3 (左開き用)

取付位置決め順序

1. 基準線を直角に谷折りにし、ドア側をドアに、上枠側を上枠下面に合わせ、取付板の取付穴位置①を決めてください。
 下図1参照
 A、Bの選択は取付説明書6-1を参照ください



2. 基準線を直角に山折りにし、上枠側を上枠下面に合わせ、ブラケットの取付穴位置②を決めてください。
 下図2参照
 1,2では取付型紙を固定する場所が異なります。
 注意



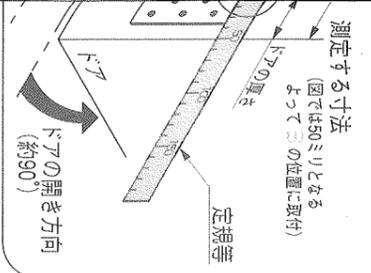
- 取付型紙の取付
 蝶番の中心
 定規の中心
 に合わせて
 蝶番
 拡大図
 蝶番の出方
 蝶番の出方
- 取付穴の加工
 セロハンテープ
 タテ枠
 下加工
 (取付板取付穴)
- ブラケット③
 フラケット③
- 本体①とA
 ツール
 ツール
 フラケット③
 ネジ⑧
 フラケット③
 フラケット③

ドアが閉まらない。
 本体から音がする。

ドアが開まらない。

以下の説明は左開きで記してあります。)

位置 A・B の決定



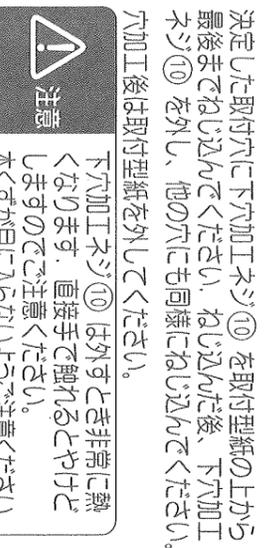
取付型紙には A と B の 2 種類の位置が記されています。以下に従いどちらかを決定してください。
・ボアが約 90° までしか開かない場合
ボアを開き、次の 2 つの寸法を同時に測定してください。

- 【ボアの厚さ】
蝶番の中心からボアまでの距離 (図参照)
- 測定した寸法 (2 つの合計) が 52 ミリ以下の場合、
B の位置を使用してください。

上記以外の場合 (2 つの合計が 52 ミリ以上または 90° 以上ボアが開ける場合)、A の位置を使用してください。

5- (2) で切り取った取付型紙の説明 (取付位置決め順序) に従って、取付型紙をセロハンテープで固定し、取付板取付穴、フラスケット取付穴の順に加工します。

決定した取付穴に下穴加工ネジ ⑩ を取付型紙の上から最後までねじ込んでください。ねじ込んだ後、下穴加工ネジ ⑩ を外し、他の穴にも同様にねじ込んでください。穴加工後は取付型紙を外してください。

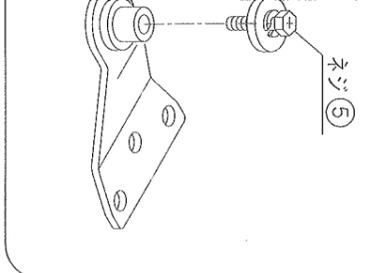


【注意】 上記の場合で A の位置をご使用される ストツプ装置が作動しません。

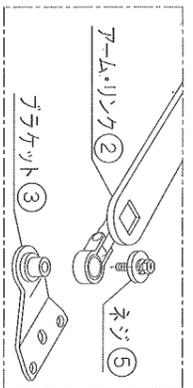
【注意】 下穴加工ネジ ⑩ は外すとき非常に熱くなります。直接手を触れるとやけどしますのでご注意ください。木くずが目に入らないようご注意ください。

下穴加工ネジの代わりにドリルを使用される場合はφ3.8ミリをご使用ください。

ネジ ⑤ の取付け

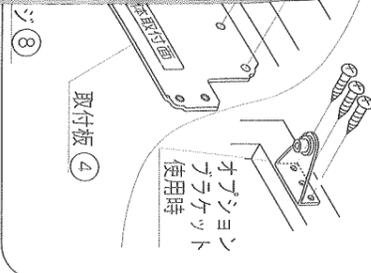


フラスケット ③ からネジ ⑤ を取り外します。フラスケットに梱包されている商品は、下図のように梱包されています。下図のとおりフラスケット ③ からフーム・リンク ② 及びネジ ⑤ を取り外してください。



【注意】 ネジ ⑤ は後で使用しますので、紛失しないようご注意ください。

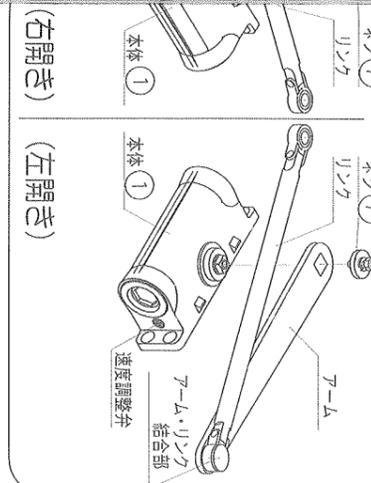
取付板 ④ の取付け



フラスケット ③ を上枠に、取付板 ④ をボアに取付けます。取付板 ④ は「本体取付面」の文字が見えるように取付けてください。

【注意】 ⑥-② の下穴加工をしないでピストンすると木枠が割れるおそれがあります。ボアの厚さ 28 ミリ以下の場合にはボアの厚さに合わせた短い取付木ネジを別途準備してください。

ムスの組立



本体の軸にフームをかるくはめ合わせた後、本体・フーム結合用ネジ ⑦ を取付け、緩みがないようにねじ込んでください。

【注意】 フームは本体の軸に奥まで完全に押し入れます。ネジを締めつけることで固定されます。左右開きで組立が異なります。フーム・リンク結合部と速度調整弁を同じ方向に向けてください。

Q&A (ボアを戻す後に...)

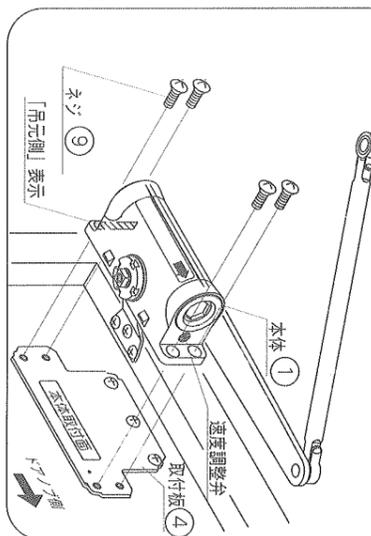
原因

- ・速度調整弁が開いている。
- ・本体から油が漏れている。
- ・本体とフーム結合用ネジが緩んでいる。
- ・速度調整弁が開いている。
- ・取付方法に誤りがある。
- ・ボアが弊、床等に接触している。

対策

- ・⑥-⑧ の速度調整方法に沿って速度調整弁を右 (時計の方向) にまわし調整してください。
- ・最寄りの販売店、弊社営業所に連絡ください。
- ・再度ネジを締めてください。締めつけ後も音が直らない場合はフームの交換が必要です。(本体内部より多少音がする事がありますが、故障ではありません。)
- ・⑥-⑧ の閉じ速度調整方法に沿って速度調整弁を左 (時計と反対) にまわし調整してください。
- ・取付順序⑥-⑦-⑧をご参照の上、再度確認してください。
- ・最寄りの工務店、建具店にご相談してください。

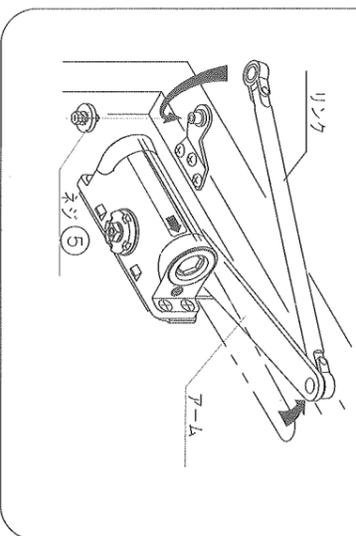
⑥ 本体 ① 取付



ボアを開いてください。(ボアが開かないように固定してください。)

本体 ① を本体取付板 ④ にネジ ⑨ で固定してください。本体の速度調整弁側の面をボアノブ側へ向けてください。

⑦ フラスケット ③ とリンクの結合

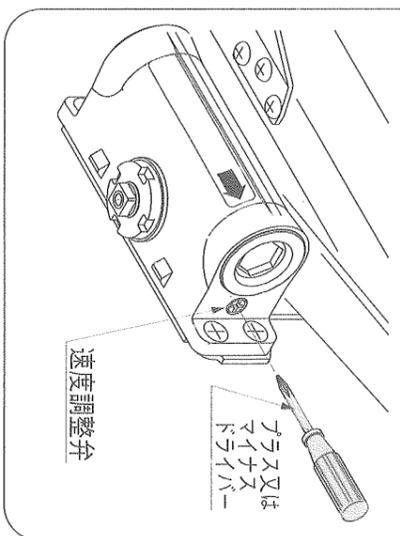


ボアを開いた状態でフームを手前に引きながらリンクをフラスケット ③ に差込み、フラスケット・リンク結合用ネジ ⑤ で仮締め後、ボアを少し開いて締めつけてください。

必ずボアを開いた状態で行ってください。フームを手前に引くにはかなりの力が必要ですが、フームを手前に引かないと結合できません。手前に強く引いても動かない場合、本体とフームの組立が間違っていることが考えられます。本体を取り外し⑥-⑦の作業を再度確認してください。

【注意】 工場出荷の際、適正スピードにセットしてありますが左図の速度調整弁を、次のように操作すると速度の調整ができます。

⑧ 閉じ速度の調整

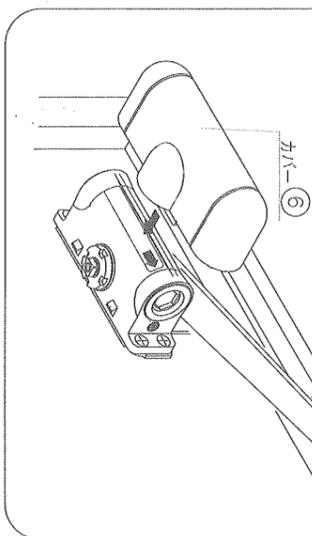


右 (時計の方向) にまわすと閉じ速度は遅くなります。

左 (時計と反対の方向) にまわすと閉じ速度は速くなります。

【注意】 速度調整弁は合成樹脂で出来ていますので、ボアノブの先端を調整溝に確実に合わせ調整しないと溝が破損する恐れがあります。速度調整弁は 2 回転以上左 (時計と反対の方向) にまわさないでください。まわしすぎると油がモレします。

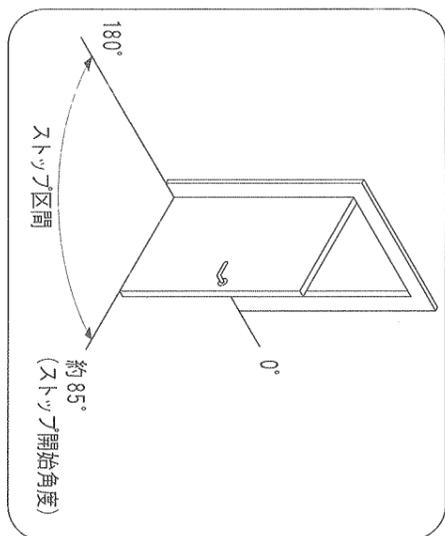
⑨ カバー ⑥ のはめ込み



カバー ⑥ をはめ込みます。

以上で取付けは終了です。

⑦ ストツプ機能について



・ボアを約 85° (※) あけるとストツプ装置が働き、任意の角度 (85°~180°) でボアの開放維持ができます。
※ストツプ開始角度約 85° は蝶番の出寸法 (⑥-① 参照) により差があります。

・ボアを開める場合は、約 85° の位置までもどせば後は、自動的に開まります。

【注意】 ストツプの開始角度は変更できません。